

幼稚園・学校における働き方改革を推進します ～よりよい教育の実現に向けて～

区では、区立幼稚園・小・中学校における教員の働き方改革を推進するため、31年3月に「働き方改革実施計画」を策定しました。これは、教員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備することで、教育の質の向上を図り、「子どもの学びを保障する教育環境」を実現するためです。

今後、実施計画に基づき、教員の働き方改革に向けた取組みを順次、実施してまいります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



働き方改革の目標

【当面の目標】

週当たりの在校・園時間が60時間を
超える教員をゼロにします。

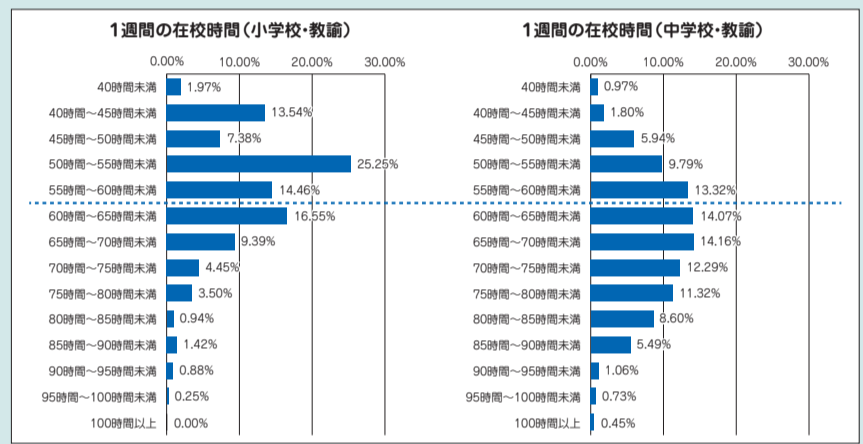
【取組みの方針】

平日1日あたりの在校・園時間11時間以内
週休日の連続した業務への従事の禁止



教員の勤務実態

東京都教育委員会が実施した勤務実態調査において、小・中学校教員の長時間労働の実態が明らかとなっており、特に中学校では約7割の教員が、週当たりの在校時間が60時間を超えている状況です。
※教員の就業時間は原則として8:15～16:45になります。



(出典)東京都公立学校教員勤務実態調査の集計結果について

主な取組み

1 学校閉庁日の設定

休暇取得促進期間を設けることで、心身のリフレッシュを行うことの大切さを認識し、質の高い教育への意欲を高めることにつなげます。また、管理職も含め、教員の計画的な休暇取得の意識を高め、ワーク・ライフ・バランスを推進します。

(小・中学校)

夏季休業日：山の日(8月11日)に続く3日間

冬季休業日：仕事納め(12月最終日)1日間

(幼稚園)

開園記念日

都民の日



3 専門スタッフの配置

子どもたちを取り巻く課題が複雑化・多様化する中、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどのニーズが増え続けていることなどを踏まえ、専門スタッフの配置を促進します。

2 留守番電話(自動応答メッセージ)の導入

教員が授業の準備などを行う時間を確保するとともに、教員の日々の負担軽減を図るため、31年度の2学期から、平日夜間、土日祝日などは、留守番電話(自動応答メッセージ)対応となります。留守番電話に切り替わる時間などの詳細は、改めてお知らせします。



4 部活動指導員および部活動指導補助員の配置

「文京区部活動ガイドライン(31年3月策定)」に基づき、これまで配置していた部活動指導補助員に加えて、専門的な技術指導および生徒指導などが行え、引率などが可能な部活動指導員を各中学校に2名程度配置する予定です。高い専門性を持った部活動指導員を雇用することで、生徒の技術の向上が得られ、部活動の活動内容をより一層充実させていきます。

この他、小学校に「英語専科教員の配置」などの取組みを実施していきます。

教育指導課 ☎(5803)1300



1 特集

幼稚園・学校における働き方改革を推進します～よりよい教育の実現に向けて～

2 本駒込児童館へようこそ

第10回中学生「東京駅伝」大会報告

2 職場体験学習を行っています

文京区指定有形文化財に指定をしました

3 4月23日は子ども読書の日、4月23日から5月12日はこどもの読書週間です。

歯と口の健康づくり2019を開催します

3 教育センターへ行こう!

学校給食おすすめレシピ「ほうじ茶プリン」

4 区立小・中学校、幼稚園を紹介します

編集後記

本駒込児童館へようこそ

住所 本駒込5-63-2 開設 昭和46年8月1日
☎(3822)3791



区立児童館を
紹介します



このコーナーでは、区立児童館を紹介し
ます。第4回目は本駒込児童館です。

本駒込児童館は…

本駒込児童館は保育園と併設した施設で1・2階が保育園、3階と屋上が児童館となっています。児童館には本駒込育成室を併設しています。また、区の端に位置しているため、豊島区や北区など他区の方の利用も多く、幼児と家族の方々との交流の場にもなっています。

乳幼児活動の様子

月・火・金曜の午前中は、誰でも参加できる「トントンパチパチ」、水曜には0、1歳児向けの「おへんじハイ」、木曜には通年登録制の「おもちゃばこ」などを行っています。

他にも、保護者の方同士がお話しながら友達作りができるよう、月1回「ホッとタイム」を企画しています。ここでは、保護者の方同士で情報交換や育児の悩みなどを話してリフレッシュできるよう、職員がお子さんの遊びの様子を見守っています。お子さんの月齢はさまざま、月齢の高い子の保護者の方は「こんな時期もあったな」と赤ちゃんの姿を見て懐かしむ様子や、帰省時の電車・飛行機移動の子どもの過ごし方や便利グッズなどを話し



手形アートを作った時の様子

ていました。子どもと少し離れたいな、こんな時どうしてるのか聞きたいな、など気軽にご参加ください。

また不定期ですが、リトミックやベビーバレエ、ベビーマッサージ、手形アート、お昼寝アートなどさまざまな企画も行っていきます。詳しくはホームページをご覧ください。

午後の様子

放課後には小中学生が来館します。ホールでは天下や穴虫などのボール遊び、工作室では週ごとの企画工作、図書室ではプラレールやブロック遊び、ペランダではフラフープやスクーター、時には音楽をかけてダンスをしている子もいます。

限られた場所でも子どもたちは工夫して遊

んでいて、ダンスから派生して受付前では、低学年の子たちがフェスを開催。その時の熱気と盛り上がりはフェスそのものでした。

1月は工作で入浴剤を作り、その入浴剤を使って足湯を行いました。寒くなってくると、「今年はいつ足湯するの?」との声がたくさん聞こえてきました。6年生男子も足湯のために一生懸命作っている姿がとても微笑ましかったです。

安心安全な居場所づくり

「久しぶり!引越して遠くなったんだ。」と引越してもふと思い出して遊びに来てくれる子がいます。

頭の片隅に居場所の一つの選択肢としてあることを嬉しく思います。

毎日来ても、久しぶりにきても、楽しい時間を共有できる場所でありたいと思います。

ぜひ遊びに来て



新年お楽しみ会、かるたのりの様子

第10回中学生「東京駅伝」大会報告

第10回中学生「東京駅伝」大会が、2月3日、アミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園 特設周回コースにて開催されました。この大会は、各区市町村からそれぞれ選抜された中学校2年生による区市町村対抗駅伝競走です。文京区は、国立、私立、公立中学校13校で編成した代表チームで参加しました。



レース終了後の集合写真

大会に先立ち、1月24日に区民ひろばで壮行会を行いました。選手紹介や代表生徒の言葉の後、練習にご協力いただいた中央大学陸上競技部駅伝監督藤原正和さんに体験談を通じた激励をいただきました。

大会当日は、女子は16人で30km、男子は17人で42.195kmを走破しました。選手は、応援に駆け付けた保護者、学校関係者の大きな声援を受け、力を出し切ることができました。

結果は、女子32位・男子36位、総合順位は33位でした。男子はこれまでの区の最高記録を2分15秒上回り、特別賞を受賞しました。

11月にチームを結成してから、総監督をはじめとするチームスタッフや保護者に支えられ、練習に励み、当日に臨むことができました。

教育指導課 ☎(5803)1300

職場体験学習を行っています

区では、社会の一員としての自覚をもち、社会性や職業観を育むことを目的として、区立中学校2年生の全生徒を対象に、地域の商店、地元の企業や公的施設などでの職場体験を行っています。生徒にとっては、実社会を経験することにより、職場で必要とされる能力について真剣に考えるきっかけになるなど、実践的な学びの場となっています。



意見交換会の様子

2月1日には、職場体験発表会が行われ、第六中学校、第八中学校、第九中学校からの代表生徒のグループが、各学校の特色を生かした見ごたえのある発表を行いました。

受入事業者を代表し、株式会社ユニクロ(東京ドームシティラクア店)より事業者側から見た職場体験という内容での発表もありました。職場体験は受け入れ側にとっても初心を思い出すよいきっかけとなり、学びがあるということをうかがい知ることができました。

発表会の後半には3校から2名ずつの代表生徒による意見交換会が行われました。共催する東京本郷ロータリークラブがコーディネート役を務め、職場体験の成果や課題のほか、将来の夢や職業に対する意識など、生徒が思い描く職業像に対して、様々な意見やアドバイスが出され、有意義な意見交換会となりました。

教育指導課 ☎(5803)1300



文京区指定有形文化財に指定をしました

指定後の名称及び員数

備後国福山藩主阿部家資料 534点

種別：区指定有形文化財(歴史資料)

指定日：31年3月1日 所有者：文京区

所蔵先：文京ふるさと歴史館

本資料群は、備後国福山藩(現：広島県福山市)の藩主をつとめた阿部家に伝来しまし



殖産日誌
明治19年
(1886)



殖産日記
明治21年(1888)
※明治21年1月15日、駒込西片町10番地(阿部家丸山屋敷)内を7つに区分し、それぞれに「いろは」号を付けた地番が採用。昭和39年に住居表示改正が実施されるまで採用されました。



本郷区駒込西片町拾番地々図
明治20年頃

た。近年、阿部家から区に寄贈されました。現在の西片1・2丁目のほとんどは、江戸時代には阿部家の拝領屋敷であり、丸山屋敷と呼ばれていました。

本資料群の特色は、江戸から東京への都市空間の変容を示す地域資料が中心を占めることです。また、近代以降の旧大名華族の生活空間の様相と変容過程や、住宅様式の近代化を表すものであり、生活史および住宅史の視点でも重要なものです。

教育総務課文化財保護係 ☎(5803)1305

4月23日は子ども読書の日、 4月23日から5月12日はこどもの読書週間です。

子ども読書の日は、13年施行の「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、国民が子どもの読書活動についての関心と理解を

深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に設けられました。



また、こどもの読書週間は、「子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所を」という願いから、昭和34年に始まり、61回目の今年の標語は「ドは読書のド♪」です。

区立図書館では、この機会に、子どもたちが読書に親しみ、図書館を利用していただけるよう、さまざまな事業を実施します。ぜひ、お近くの図書館へお出かけください。

●主なイベント

日程	事業内容	図書館名
4/17(水)	子ども会 人形劇「ブレーメンの音楽隊」ほか	千石図書館
4/21(日)	ぬいぐるみおとまり会	本駒込・目白台図書館
4/21(日)	講演会「かがく絵本は楽しい！」	千石図書館
4/23(火)～ 5/19(日)	絵本「花さき山」のパネル展	小石川・本駒込・目白台・湯島図書館、大塚公園みどりの図書室
4/24(水)～ 5/6(休・月)	おはなしマラソン	目白台図書館
4/27(土)	子ども映画会「まめうしくん」ほか	小石川図書館
4/27(土)	講演会「『サッチャン』の詩人 父・阪田寛夫を語る」	千石図書館
4/29(祝・月)	スペシャルおはなし会	本駒込図書館
5/1(祝・水)	子ども会 人形劇「おむすびころりん」	真砂中央図書館
5/1(祝・水)	こいしのじかんスペシャル	小石川図書館
5/11(土)	おたのしみ会スペシャル	小石川図書館

※詳細は各図書館にお問合せください。



昨年の子どもの会の様子

真砂中央図書館 ☎(3815)6801

歯と口の健康づくり2019を 開催します

6月の「歯と口の健康週間」にあわせて、口腔衛生の向上を目的とし「歯と口の健康づくり2019」を開催します。当日は、歯科健診において優秀な成績を取めた学校・幼稚園の表彰や、小・中学校の児童・生徒の皆さんから募集した「よい歯の図画・ポスター」の入賞者の表彰、また特別講演などを予定しています。入場無料、参加自由となっていますので、皆さんふるってご来場ください。

Information 開催概要

日時 6月20日(木) 午後2時～4時30分(予定)
会場 シビックホール 小ホール
内容 表彰・特別講演
申込 当日直接会場へ(入場無料)

「よい歯の図画・ポスター展」を開催します

小・中学校の児童・生徒の皆さんから募集した「よい歯の図画・ポスター」の入賞作品を展示します。入場無料となっておりますので、皆さんぜひご観覧ください。

Information 開催概要

日時 6月1日(土)～23日(日) 午前8時～午後10時
会場 区民ひろば(シビックセンター地下2階)
内容 「よい歯の図画・ポスター」展示
申込 直接会場へ(入場無料)

学務課学校保健担当 ☎(5803)1956

教育センターへ行こう！

教育センターでは、区内の子どもたちの科学に対する豊かな感性を育むことを目的に、幅広いテーマの講座を実施しています。「科学教室」「やってみましょう楽しい実験」や、親子で一緒に楽しく学べる「親子理科教室」では、経験豊富な専門指導員がオリジナルの教材を用意し、丁寧な指導を行っています。「子ども科学カレッジ」では、大学から先生を招聘し、最新の研究成果についてお話をさせていただきます。また、小・中学生がパソコンやプログラミングに親しんでもらえるよう、「子どもパソコン教室」や「キッズプログラミング体験講座」「ジュニアプログラミング開発体験講座」を開催しています。それぞれの講座は、内容ごとに対象年齢が分かれており、幼稚園児から中学生まで、幅広い年齢の子どもたちに科学に親しんでいただけます。5月に実施する講座は下記のとおりです。詳細につきましては、教育センターホームページをご覧ください。



科学教室の様子

Information 開催概要

第1回子ども科学カレッジ 「重力波とニュートリノで謎の宇宙現象に迫る」

日時 5月11日(土)
午前10時～12時
対象 小学4年生～中学3年生
定員 50人(申込順)
費用 無料
申込 4月19日(金)～5月10日(金)

第1回親子理科教室「万華鏡をつくろう」

日時 5月18日(土)
午前10時～11時30分
午後2時～3時30分
対象 小学1～3年生とその保護者
定員 30組(抽選)
費用 500円
申込 ～5月6日(月)



教育センター
ホームページ

教育センター科学教育事業担当 ☎(5800)2591

学校給食おすすめレシピ

ほうじ茶プリン

3学期の和食の日に実施した献立から、香ばしいほうじ茶を使った、和風のデザートを紹介いたします。



★材料(4個分)

・水 カップ1/2
・ほうじ茶葉 4g
・粉寒天 2g
・砂糖 大さじ4
・牛乳 カップ3/4
・生クリーム(動物性) カップ1/4

★作り方

- ① 水を沸騰させ、茶葉を入れて濃い目に煮出してこし、カップ1/2杯のほうじ茶を用意する。
- ② 粉寒天、砂糖を①に加え、静かに沸騰させて1分ほど煮溶かす。
- ③ (別鍋に)牛乳と生クリームを合わせ、人肌に加熱する。(電子レンジでも可)
- ④ ②に③を加え、よく混ぜ合わせる
- ⑤ カップに流し入れ、粗熱がとれたら冷蔵庫で冷やす。

★ポイント

・牛乳、生クリームは人肌に温めることで分離しにくくなります。

学務課給食担当 ☎(5803)1299

千駄木幼稚園

所在地 千駄木5-43-3
開園 昭和51年4月

ここが特徴

千駄木幼稚園は30種類以上、60本以上の木がある園庭で四季折々の変化を感じることができます。大きな樹木に囲まれた土の園庭で子どもたちは虫や草花に触れながら、毎日楽しく遊んでいます。

また、なわとびや一輪車、木と木にロープを張った教員手作りの遊具など、環境に自分から関わり、チャレンジしていく姿勢を大切にしています。

地域とのつながり

隣接している千駄木小学校や文林中学校とは、中学生による絵本の読み聞かせや夕涼み会・運動会でのボランティア、小学校5年生との交流・1年生の授業見学、交流給食など盛んに交流しています。

また、地域のお祭りに絵を飾ったり、千駄木の郷を訪問したりして、地域との繋がりを感じています。その他、地域の方々に見守られ、夕涼み会での花火、餅つきや焼き芋などの活動を親子で楽しんでいます。

オリンピック・パラリンピックに向けた取組み

地域の方を講師に招き、バレー、カンフー、お茶、お華の体験をするわくわくタイムやサッカー、ラグビー、フラダンスなどのスポーツ・ダンス体験を実施しています。

一昨年度は、陸上選手を招いて走り方を教わったり、車椅子の方と触れ合ったりしました。昨年度は、なわとびダブルタッチにチャレンジしました。体を動かしながらさまざまな文化に触れることのできる機会を設け、体を動かすことが大好きになるような取組みを行っています。

他にも、外国語に触れる体験としてネイティブの保護者を講師に招き、「英語で遊ぼう」という活動を行いました。

最後に一言

3歳から5歳まで約150名が遊ぶ千駄木幼稚園は、さまざまな人と関わり、自然の中で感性豊かに遊ぶ中で、生きる力の基礎を育てています。地域の親子にも園庭を開放していますので、ぜひお立ち寄りください。



ロープの遊具で遊ぶ子どもたち

誠之小学校

所在地 西片2-14-6
開校 明治8年10月

ここが特徴

明治8年、福山藩丸山中屋敷(江戸の藩邸)の藩校を前身として開校し、都内で最も歴史のある学校の一つです。校名の「誠之」は、儒学の古典『中庸』の「誠は天の道なり之を誠にするは人の道なり」という一節に由来します。人としての在り方を示す「誠之人道」の精神に基づき、「心身ともに健康な子」、「よく考えてやりぬく子」、「心豊かで思いやりのある子」、「自分のよさを生かし人のためになる子」を目指した教育を行っています。



刈り取った稲を束ねる子どもたち

校舎の改築

現在、学校は一つの転換期を迎え、27年に校舎の改築が決定しました。児童は、30年1月から仮設校舎で学校生活を送っていますが、限られた環境においても、東大グラウンドでの体育授業や室内系クラブ活動の充実など創意工夫を凝らし活動しています。

また、体験活動を重視し、埼玉県小川町で借り受けている田んぼでは、毎年、5年生が田植え・稲刈りを体験し、日本文化や農業への理解を深めます。収穫したお米は「誠之田んぼ産」のセルフブランド米として給食でも美味しく食べられています。

地域との関わり

区内で最初のコミュニティスクールとして、学校支援地域本部と連携し、地域に開かれた学校を目指しています。親子と一緒に参加できるカルチャー教室やスポーツ教室などの学校支援地域本部が主催するさまざまな企画も子どもたちを思う心の一つです。

また、地域の方々がそれぞれの専門性を生かして協力いただく機会も多く、外国語の授業では、AC(エリアコーディネーター)として授業に入っていただくなど、直接的な学校支援も充実しています。

最後に一言

学校の歴史と伝統を紡ぎながら、より一層、地域から親しまれ、信頼される学校となるよう努めてまいります。



区立小・中学校、幼稚園を紹介します



区立学校・幼稚園の特色を紹介するこのコーナー。今号もたくさんの魅力をお届けします。

根津小学校

所在地 根津1-14-3
開校 明治30年7月

ここが特徴

明治30年に東京市根津尋常小学校として開校し、今年で開校122年目を迎えます。根津小学校の伝統ある歴史は、地域と共に歩んできた歴史でもあります。七ヶ町町会が学区と一致しているため、結束がとて強い地域です。地域には、多くの卒業生、元保護者がいらっしやり、根津小愛がとて強いです。根津青少年健全育成会の活動が盛んで、7月にどじょうつかみ、10月に根津・千駄木下町まつり、12月にもちつき、2月に雪遊びを実施していただいています。

こころの教育・道徳教育

人権尊重の精神に基づき、自他を大切にし、自己肯定感・自尊感情を高め、わがまを言わず、我慢強く、相手を思いやり、先を譲れる、つよい心をもった子の育成に努めています。全校遠足や給食交流などの「根津っ子班活動」(縦割り班活動)を通して、豊かな心を育てています。また、道徳科による心の教育の積み重ねがわかるように、「道徳授業のあしあと」としてこれまでどんな内容の授業を行ってきたかを掲示し、保護者・地域の方々に知らせる取組みを行っています。

言語能力の育成

27・28年度における東京都教育委員会言語能力向上拠点校としての実践をもとに、朝読書、読書月間、読み聞かせ、名文音読、俳句や一行詩作りなどを通して、言語能力の向上を図っています。また、校内研究の主題を「自分の思いや考えを進んで表現する児童の育成」とし、考えなどを自分の言葉で伝える力が身に付くよう、授業改善をすすめています。

最後に一言

根津小愛にあふれる地域(卒業生、元保護者など)の方々に惜しみないご協力をいただいています。人と人とのつながりが豊かな根津のまちの学校に通える子どもたちは幸せです。



下町まつりに参加した5、6年児童

第十中学校

所在地 千石2-40-17
開校 昭和23年4月

ここが特徴

第十中学校には「あいさつは『十中魂』」という地域から生まれた言葉があるように、自然にあいさつを交わす雰囲気があります。あいさつを交わすことで、先生・上級生・下級生が信頼関係を築く一つのきっかけとなっています。下級生は先輩の姿に学び、十中魂は受け継がれています。

地域とのつながり

8月下旬には第十中学校のグラウンドで地域主催の「大原夏祭り」が行われています。また、幼児から大人まで一緒に楽しむことのできる地域の運動会「大原スポーツ祭り」では、十中生が学生ボランティアとしてイベントのサポートをし、地域の一員として地域の方々との交流を深めています。

多彩な学びの形

年4回の定期考査の前の3日間、英語検定・数学検定の前の2日間にそれぞれ外部講師を招き、学習をサポートする「放課後ステップアップ」を行っています。学習の進め方を学ぶいい機会となっています。

また、学習発表会で開催される弁論大会では各学級の代表が発表しますが、全生徒が書き、他の生徒の主張を聞くことにより、意見を受け止め考える力を養う場となっています。

先生からの問いかけに対し、自ら考え提案し、共有し実現する、こうした取組みが日常的に行われ、授業や部活動に生かされています。

最後に一言

生徒数190名、オーソドックスな中学校ですが、頑張った子に「スゴイね!」と自然に声をかけ、互いに認め合うことのできる、アットホームな環境が70年の歴史の中で築き上げられています。



70周年記念行事における合唱の様子

編集後記

春4月、新たな出会いの季節です。そして、平成から次の時代への転換の時でもあります。今号の特集では、学校・幼稚園の働き方改革を取り上げました。子どもたちの健やかな成長にとっても

重要なテーマであり、保護者の皆さんの関心も高いものと思われる。今年度も区の教育に関するさまざまな情報をお届けし、皆さんに親しまれる紙面づくりをしていきます。